

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 28 年 2 月 25 日 (2016.2.25)

【公表番号】特表 2015-511141 (P2015-511141A)
 【公表日】平成 27 年 4 月 16 日 (2015.4.16)
 【年通号数】公開・登録公報 2015-025
 【出願番号】特願 2014-555376 (P2014-555376)
 【国際特許分類】

A 6 1 M 16/00 (2006.01)

F 0 4 D 29/66 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 M 16/00 3 0 5 A

F 0 4 D 29/66 K

F 0 4 D 29/66 L

【手続補正書】
 【提出日】平成 28 年 1 月 6 日 (2016.1.6)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

人工呼吸器 (2 1) 用の防音筐体であって、

前記筐体 (3 1) 内に空気が進入するための吸気開口部 (4 4) を有する第 1 の筐体部 (4 1) であって、前記空気は、前記筐体 (3 1) 内に配置されたファン (3 5) によって吸引される、第 1 の筐体部 (4 1) と、

第 2 の筐体部 (5 1) であって、前記筐体 (3 1) から吸引された前記空気を排出するための排出開口部を有する第 2 の筐体部 (5 1) と、

前記筐体 (3 1) 内に配置された成形部 (6 1) であって、前記筐体 (3 1) が組み立てられたときに、前記第 1 の筐体部 (4 1) と前記第 2 の筐体部 (5 1) との間で支持されて、前記筐体 (3 1) を吸気領域 (3 3) と吐出領域 (3 4) とに分割するフランジシール (6 3) を形成する、成形部 (6 1) と、

前記筐体 (3 1) 内で前記ファン (3 5) を保持するためのファン収容部 (8 3) であって、前記吸気領域 (3 3) に面する前記フランジシール (6 3) の吸気側側面 (6 5) から突出しているファン収容部 (8 3) と、

前記筐体 (3 1) 内の前記ファン (3 5) によって吸引された空気を誘導するための空気ガイドと、
 を備え、

前記ファン (3 5) によって吸引された空気のための少なくとも 1 つの空気通路開口部 (1 1 2) と、前記筐体 (3 1) が組み立てられたときに、筐体部 (4 1) の内側部分に接触する接触側面と、を備える支持フランジ (8 6) が、前記ファン収容部 (8 3) の自由端の領域に設けられ、

前記ファン (3 5) によって吸引された空気のための少なくとも 1 つのさらなる空気通路開口部 (8 5) が、前記ファン収容部 (8 3) において、好ましくは、前記フランジシール (6 3) の吸気側 (6 5) に隣接して設けられる、
 筐体。

【請求項 2】

シール要素、特に、リップシール（８７）が、前記支持フランジ（８６）の前記接触側面の上に設けられる、請求項１に記載の筐体。

【請求項３】

少なくとも１つの空気通路開口部（１１２）を有する吸気側ガイド要素（１１１）が、前記支持フランジ（８６）から空気ガイドの形態で突出している、請求項１または２に記載の筐体。

【請求項４】

前記吸気側ガイド要素（１１１）のための少なくとも１つの支持部（１１５）が設けられ、前記吸気側ガイド要素（１１１）から前記支持フランジ（８６）まで都合良く延びている、請求項３に記載の筐体。

【請求項５】

前記吸気側ガイド要素（１１１）の一部を収容するための少なくとも１つのガイド収容部（７６）が、前記筐体（３１）が組み立てられたときに前記吸気側ガイド要素（１１１）をその中に支持する前記筐体部（４１）の中に設けられる、請求項３または４に記載の筐体。

【請求項６】

一方の筐体部（４１）が、前記筐体部（４１）の自由縁（４６）から突出する少なくとも１つの締結ドーム（４７）を備え、

他方の筐体部（５１）が、前記筐体（３１）が組み立てられたときに前記少なくとも１つの締結ドーム（４７）を収容する少なくとも１つの締結ドーム逃げ部（８１）と、前記筐体（３１）が組み立てられたときに前記筐体部（４１、５１）の間に所定の間隔を確保するために前記締結ドーム逃げ部（８１）内に都合良く設けられた前記少なくとも１つの締結ドーム（４７）のための係止部と、
を備える、請求項１～５のいずれか１項に記載の筐体。

【請求項７】

前記少なくとも１つの締結ドーム（４７）の通路としての少なくとも１つのドーム貫通開口部（６４）が前記フランジシール（６３）に設けられ、前記少なくとも１つのドーム貫通開口部（６４）は、周辺が都合良く閉じられている、請求項６に記載の筐体。

【請求項８】

吐出側ガイド要素（６７）が、前記フランジシール（６３）上にさらなる空気ガイドの形態で設けられ、前記フランジシール（６３）の吸気側側面（６５）とは反対側の前記フランジシールの吐出側側面（６６）から突出し、前記吐出側ガイド要素（６７）用の少なくとも１つの支持部（６８）が、都合良く設けられ、前記吐出側ガイド要素（６７）から前記フランジシール（６３）まで都合良く延びている、請求項１～７のいずれか１項に記載の筐体。

【請求項９】

前記ファン（３５）の配線用のケーブル（３７）の通路としての少なくとも１つのケーブル貫通開口部（１０４）が、前記フランジシール（６３）に設けられ、前記少なくとも１つのケーブル貫通開口部（１０４）は、前記フランジシール（６３）から突出している包囲部（１０２）に設けられると都合が良く、

さらに、前記包囲部（１０２）の少なくとも一領域を収容する筐体逃げ部（４９）が、前記筐体部（４１）に設けられると都合が良く、前記筐体（３１）が組み立てられたときに、前記筐体逃げ部（４１）内に前記包囲部（１０２）が支持される、請求項１～８のいずれか１項に記載の筐体。

【請求項１０】

前記ファン（３５）の配線用のケーブル（３７）の通路としての少なくとも１つのケーブル貫通開口部（８９）が、前記支持フランジ（８６）に設けられる、請求項１～９のいずれか１項に記載の筐体。

【請求項１１】

前記ファン（３５）の配線用のケーブル（３７）の通路としての少なくとも１つのケー

ブル貫通開口部（８９）が、前記支持フランジ（８６）および前記吸気側ガイド要素（１１）の少なくとも一方に設けられる、請求項３～５のいずれか１項に記載の筐体。

【請求項１２】

前記フランジシール（６３）の縁から都合良く離間された少なくとも１つの空気通路開口部（６９）が、前記フランジシール（６３）に設けられ、前記空気通路開口部（６９）を前記ファン（３５）の吐出側排気口（３６）に接続するガイド部（７０）が都合良く設けられる、請求項１～１１のいずれか１項に記載の筐体。

【請求項１３】

前記フランジシール（６３）を支持する支持要素（９６）が設けられ、前記フランジシール（６３）の前記吸気側側面（６５）に都合良く配置されている、請求項１～１２のいずれか１項に記載の筐体。

【請求項１４】

前記成形部（６１）は、２つの部分によって形成され、第１の成形部部分（６２）は、少なくとも前記フランジシール（６３）を備え、少なくとも１つのさらなる成形部部分（８２）は、少なくとも前記ファン収容部（８３）を備え、

前記第１の成形部部分（６２）を前記少なくとも１つのさらなる成形部部分（８２）に接続する固定装置（９２）が設けられる、請求項１～１３のいずれか１項に記載の筐体。

【請求項１５】

前記固定装置（９２）が、前記成形部部分（８２）のうちの１つに設けられた少なくとも１つの固定突起（９４）と、前記別の成形部部分（６２）に設けられた少なくとも１つの固定突起収容部（９３）とを備え、

前記少なくとも１つの固定突起（９４）は、前記固定突起収容部内に固定可能であり、

前記固定装置（９２）は、前記成形部部分（６２、８２）が連結されたときに、前記成形部部分（６２、８２）が少なくともいくつかの領域において互いに離間し、前記ファン（３５）によって吸引された空気のための吸気間隙（９５）が少なくとも１つのさらなる空気通路開口部の形態で残るようにして、都合良く形成される、請求項１４に記載の筐体。

【請求項１６】

請求項１～１５のいずれか１項に記載の防音筐体（３１）を有する人工呼吸器（２１）。